



温かい助け合いで、 安心できる避難所を ～原山台校区 避難生活ガイド～



災害発生時に原山台校区の避難所で生活する住民が、互いに協力し合い、誰もが安心して過ごせる環境を作るためのポイント。
避難所は「与えられる場所」ではなく、住民一人ひとりが主役となって「作る場所」です。



1. 避難者は運営の主役（共助）



「お客様」ではなく「運営の担い手」です。
避難者は単なる利用者ではなく、
自主運営の主体として参加します。



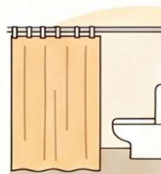
できる役割を分担しましょう。
清掃、配膳、生活水の確保、見守りなど、
自分のことで協力します。



2. 誰もが安心できる場所（人権尊重）



多様なニーズへの思いやり。
高齢者、障害者、妊産婦、性的マイノリティ、
外国人などへの配慮が必要です。



授乳室
Nursing Room

多目的トイレ
Accessible Toilet

設備と環境によるプライバシー確保。
授乳室、多目的トイレ、間仕切り、
多言語対応などを進め、安心を支えます。



3. 支え合いとSOSの輪



「大丈夫？」の声掛けが安心を作る。
困りごとを口にできない方へ、周囲から
積極的に声を掛け合います。



遠慮せず「SOS」を出せる雰囲気。
悩みや体調不良、アレルギーなどの不安は
我慢せず、周囲や窓口伝えてください。



4. みんなで守る共通ルール



全員が快適に過ごすための約束。
避難所運営会議で決めた共通ルールを、
全員で共有し守ります。



共同生活を支える当番制。
消灯時間、ゴミの分別、清掃 当番など、
お互いのためのルールに協力しましょう。